

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 収容定員変更の内容

鳥取大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき後期日程に 5 名の恒久定員増を、「緊急医師確保対策」に基づき、推薦入試Ⅱ（特別養成枠）に平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を実施した。

「緊急医師確保対策」に基づく臨時定員増 5 名については、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を実施した。

また、「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき、平成 22 年度に 13 名（鳥取県枠 8 名、島根県枠 2 名、兵庫県枠 2 名、山口県枠 1 名）を、「新成長戦略」に基づき平成 23 年度に 4 名（鳥取県枠 2 名、島根県枠 2 名）を、平成 24 年度に 3 名（鳥取県枠 2 名、島根県枠 1 名）を、前期日程（臨時養成枠）として平成 31 年度までの期限を付した臨時定員増としてそれぞれ実施した。

平成 31 年度を期限とする 25 名の入学定員の内 24 名について、令和 3 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行った。令和 4 年度の入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 85 名から 109 名に変更する。（2 年次編入学 5 名含む）

これに合わせて、収容定員についても令和 4 年度の期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 505 名から 652 名に変更する。

2. 収容定員変更の必要性

鳥取県では、令和 3 年に県が実施した医師数調査において全県で 234.5 人の医師が不足していた。二次医療圏別では、鳥取県東部で 99.3 人、中部で 56.0 人、西部（鳥取大学医学部附属病院を除く）で 49.2 人の医師が不足しており、医師の充足率は、東部 78.1%、中部 71.8%、西部 85.7%であった。診療科ごとでは、内科や外科を含めほとんどの診療科において、全県的に不足していた。

また、中山間地域を抱える町村部を中心に、公立病院等の医師が不足しており、各病院や地元の自治体から鳥取県へ多くの医師派遣要請があるが、まだ十分には応えることができない現状である。特別養成枠の奨学金制度は、内科または総合診療医か特定診療科（産科、小児科、精神科、救急科）等の医師（県職員）として 9 年間中山間地域等の地域医療に貢献することが返還免除の要件である。令和 4 年度の期限を付した再度 5 名の定員増により、鳥取県が必要とする中山間地の医療を担う医師や不足している診療科等の医師を確保するものである。

また、臨時養成枠（鳥取県枠）の 12 名の定員増の継続により、鳥取県が必要とする全県の医療を担いつつ、特に医師不足が顕著な鳥取県東部及び中部の医療を担う医師を確保するものである。

島根県では、令和2年度の勤務医師実態調査において、全県で227.2人の医師が不足していた。特に雲南地区や島根県西部の太田、浜田、益田地区の医師充足率は73～80%と低く、診療科別では、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科の充足率が70%未満であった。臨時養成枠（島根県枠）の令和4年度の期限を付した5名の定員増の継続により、島根県が必要とする医師を確保するものである。

兵庫県では、10圏域のうち神戸・阪神南圏域の人口10万対医師数は全国平均を上回る一方で、その他8つの圏域では全国値を1～3割下回る状況であり、地域偏在が生じている。また、へき地の医療機関や小児科、産科及び救急科等の診療科・診療分野では、特に勤務医不足が顕在化しており、医療の継続が困難となっている状況である。引き続き県内のどの地域でも安心して医療が受けられる地域医療体制の確保が課題となっている。臨時養成枠（兵庫県枠）の令和4年度の期限を付した2名の定員増の継続により、兵庫県が必要とする医師を確保するものである。

3. 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

(1) 入学者選抜方法

令和4年度の鳥取大学医学部医学科の特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）において特別養成枠の選抜を、一般選抜（前期日程）において鳥取県枠、島根県枠、兵庫県枠をいずれも別枠の入試で実施する。

●出願資格

・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）特別養成枠

鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」（※）の決定を受けている者で、高等学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した者（平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）並びに令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者

・一般選抜（前期日程）鳥取県枠

卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わない。

・一般選抜（前期日程）島根県枠

卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わない。

・一般選抜（前期日程）兵庫県枠

卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本

人又は保護者が兵庫県に居住していること。

●出願手続

・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）及び一般選抜（前期日程）の出願期間に、特別養成枠選抜及び鳥取県枠、島根県枠、兵庫県枠にインターネットにより出願をさせる。

・出願書類：特別養成枠選抜は、共通テスト成績請求票，調査書及び推薦書（出身高等学校長作成），検定料，「予約奨学生」の決定通知書（写）等。鳥取県枠，島根県枠，兵庫県枠は，共通テスト成績請求票，調査書，確約書（誓約書），自己評価シート，検定料，志望所信書（兵庫県枠のみ）等。

●選抜方法

・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）で特別養成枠の選抜を実施する。大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合的に判定する。

・一般選抜（前期日程）鳥取県枠，島根県枠，兵庫県枠で選抜を実施する。大学入学共通テストの成績，個別学力検査等の成績及び調査書，自己評価シート等の結果を総合して判定する。

（２）教育課程の内容

地域医療に関する卒前教育は，１年次に基礎地域医療学で地域医療に関する基礎的な知識と考え方を伝えている。早期体験実習では大学病院及び中小病院・クリニックの見学を行い，入学後早期に地域医療への動機付けを促している。３年次には，総合診療の基礎となる「症候学」を症例基盤型で学習し，臨床推論のトレーニングを行う。また研究室配属では，特別養成枠学生（各学年５名）が地域医療学講座に配属され，地域医療教育拠点として日野病院に設けられた「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」を拠点に総合診療と保健・医療・福祉の連携，地域包括ケア，多職種連携などについて学ぶ機会を設けている。４年次の地域医療体験では，鳥取県全域の種々の医療施設（各自２施設）を訪問し，医療人類学の方法論（エスノグラフィ）を用いてポートフォリオ作成を行っている。５年次にクリニカルクラークシップⅠで，鳥取大学地域医療総合教育研修センター（日野病院）あるいは家庭医療教育ステーション（大山診療所）の地域医療実習を必修とし，１週間のプライマリ・ケアに関する実習をおこなう。６年次にクリニカルクラークシップⅡで希望した学生には前述の地域医療総合教育研修センターあるいは家庭医療教育ステーションで，１ヶ月の間，総合診療を中心とした外来・病棟演習を実施している。

さらに，鳥取大学は平成３０年度に国際基準による医学教育認証を受審した。医学教育改革に向けてコンピテンシーについての議論がなされ，「地域医療」が８項のコンピテンスの一つに位置づけた。また，地域枠学生の地域医療へのモチベーションを喚起するため，地域医療学講座が提案する複数企画（総合診療グループ演習，プライ

マリ・ケア連合学会への参加，家庭医療テキスト勉強会，モデル地区での地域体験ツアーなど）や鳥取県企画のサマーセミナー・スプリングセミナーのうち，一つ以上の参加を必須とし，年度目標と総括を義務付け，正規のカリキュラム外での自発的な学習を促している。

(3) 卒業後のキャリアパス形成

1. 鳥取県の特別養成枠について

平成 29 年 3 月に鳥取大学特別養成枠と自治医科大学の医師のキャリアパスが改訂され，さらに令和元年 7 月に追加の改訂がされた。これらの医師はいずれも県職員として 9 年間勤務の義務を有するので，両者に共通の制度として整備された。

1) 鳥取大学特別養成枠卒業医師の臨床研修（医籍登録後 1，2 年目）

県内の基幹型臨床研修病院で研修する。（事情により，福祉保健部長が適当であると認めた場合には，県外での実施も可とする。）

2) 後期研修及び派遣

次の通り実施する。

①内科診療を中心とする総合医として勤務をする場合。

- ・後期研修 1：臨床研修を修了した直後に，県立の基幹型臨床研修病院または鳥取大学医学部附属病院のうち，県の指定する病院で実施する。（同 3 年目）
- ・後期研修 1 修了後の総合医の派遣先は自治体病院とする。（同 4～5 年目）
- ・後期研修 2：おおむね医籍登録後 6 年目の 1 年間とし，県内基幹型臨床研修病院での実施を基本とする。
- ・後期研修 2 修了後の派遣先は，自治体病院等とする。（同 7～9 年目）

※医籍登録後 3 年目からの 4 年間で，内科専門医または総合診療専門医の取得を目指すことができる。

- ・内科診療を中心とする総合医として勤務してきた医師で，将来内科・総合医や特定診療科以外の専門領域をめざす医師は，6 年目に中山間地の自治体病院等での内科・総合医として勤務した後，7 年目から 9 年目は各自が目指す選択領域の専門研修をすることを認める。ただし，中山間地の公的医療に派遣する医師が確保されることが要件とされている。

②特定診療科（産婦人科，小児科，精神科及び救急科）に進む場合。

- ・特定診療科選択願を提出して，福祉保健部長の承認を受けなければならない。
- ・選択した診療科について，県内病院を基幹施設とする専門医研修プログラムに従って鳥取県内の病院において実施する。なお、鳥取大学医学部附属病院での研修期間は 1 年間とする。（同 3～5 年目）
- ・後期研修修了後の派遣先は，原則として自治体病院等とする。ただし、鳥取大学医学部附属病院での 1 年間の研修を認める。（同 6～9 年目）

3) 派遣先の決定

鳥取県福祉保健部と病院局及び県立病院が協議のうえ異動案を作成し、知事決裁により決定する。

2. 臨時養成枠（鳥取県枠）の医師について

厚生労働省より令和3年4月に通知があった「地域枠の定義」に基づき、卒業後、12年間のうちに9年間以上県内病院で勤務すること、この期間のうち、医師の確保を図るべき区域等（知事が指定した区域）において臨床研修期間を除き4年以上勤務するよう従事要件が改定された。なお、専門領域についての制限はない。

3. 臨時養成枠（島根県枠）の医師について

厚生労働省から通知があった「地域枠の定義」に基づき、次の通り従事要件が改定された。大学卒業後、12年間のうちに9年間、知事が定める島根県内の指定医療機関に勤務する。ただし、鳥取大学で専門研修を行う場合については、3年間を限度に猶予期間が延長される。また、9年間のうち4年間は島根県の過疎地域に所在する特定地域医療機関に勤務する必要がある。専門領域についての制限はない。

初期臨床研修を島根県内の指定医療機関（特定地域医療機関）で実施した場合、勤務年数に含まれる。

4. 臨時養成枠（兵庫県枠）の医師について

医籍登録後、一定の期間（9年間を基本）を県職員として、県が指定する医師不足地域等の医療機関で勤務する。

- 1) 医籍登録後1～2年目：へき地医療に関わりがある臨床研修病院で研修する。
- 2) 前期派遣（医籍登録後3～5年目）：へき地の医療供給体制を確保するために勤務する。

キャリア支援のため、以下のコースを設定している。

- ・内科・総合診療育成コース
- ・特定診療科育成コース、若干名（小児科、産婦人科、外科、救急科、整形外科）
- ・精神保健指定医育成コース、若干名

3) 後期研修（医籍登録後6～7年目）

より高度で専門的な医療技術を修得する。大学病院や県立病院での研修も可能である。

4) 後期派遣（医籍登録後8～9年目）

へき地等での医療提供体制を確保するために勤務する。前期派遣で選択したコー

スの診療科に派遣する。

令和4年度
医学部入学定員増員計画

鳥大医発第1号
令和3年8月25日

文部科学省高等教育局長 殿

職名及び氏名

鳥取大学長 中島 廣光

「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	鳥取大学米子地区事務部学務課長 足立 学
	TEL	0859-38-7093
	FAX	0859-38-7109
	E-mail	me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

大学名	国公立
鳥取大学	国立

1. 現在(令和3年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
104	5	0	653

↑
(収容定員計算用)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
(ア)入学定員	105	105	105	105	104	104	628
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	109	104	653

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和4年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
80	5	0	505

↑
(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	80	80	80	80	80	80	480
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	85	85	85	85	85	80	505
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和4年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
104	5	0	529

↑
(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	104	80	80	80	80	80	504
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	109	85	85	85	85	80	529
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 **24**

(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	24
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	0
計	24

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数	
大学が所在する都道府県	17	
大学所在地以外の都道府県	鳥取県	2
	兵庫県	5
	島根県	
計	24	

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R2地域枠定員 (※1)	R2貸与者数 (※2)	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R2とR3の貸与 者数のうち多い 方の数
鳥取県	17	24	17	24	24
兵庫県	2	2	2	2	2
島根県	5	5	5	5	5
					0
					0
					0
計	24	31	24	31	31

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和4年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和2年度に実施した地域枠学生(令和3年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出くだ

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
学校推薦型選抜Ⅱ(特別養成枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(区別型)	5	5	<p>大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定します。</p> <p>「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。</p> <p>・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の総合判定方法は、それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」及び「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の総合判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。</p> <p>・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の総合判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。</p> <p>・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。</p>	<p>鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」(※)の決定を受けている者で、高等学校を平成31年3月及び令和2年3月に卒業した者(平成30年4月から令和2年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。)並びに令和3年3月卒業見込みの者(令和2年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。)であり、医学に興味を持ち、人物・学力が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>【推薦できる人数】 (内訳) 卒業見込者:1高等学校等につき8人以内 (注) 既卒者:推薦人数の制限はない (注)1高等学校等につき推薦できる人数は、一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。</p>	H21以前	
学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(区別型)	5	0	<p>鳥取県内の高等学校を平成31年3月及び令和2年3月に卒業した者(平成30年4月から令和2年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。)及び令和3年3月卒業見込みの者(令和2年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。)であり、医学に興味を持ち、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で、高等学校の学習成績概評がA段階に属し、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>【推薦できる人数は、1高等学校等につき9人以内とする】 (内訳) 卒業見込者:1高等学校等につき8人以内 (注) 既卒者:1人以内 (注)1高等学校等につき推薦できる人数は、一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。</p>	<p>鳥取県内の高等学校を平成31年3月及び令和2年3月に卒業した者(平成30年4月から令和2年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。)及び令和3年3月卒業見込みの者(令和2年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。)であり、医学に興味を持ち、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で、高等学校の学習成績概評がA段階に属し、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>【推薦できる人数は、1高等学校等につき9人以内とする】 (内訳) 卒業見込者:1高等学校等につき8人以内 (注) 既卒者:1人以内 (注)1高等学校等につき推薦できる人数は、一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。</p>	H21以前	

一般選抜(鳥取県枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	14	12	<p>大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果を総合して判定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。 ・「一般枠」「地域枠」のそれぞれの区分で総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断します。「一般枠」と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。 	卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わない。	H22	
一般選抜(島根県枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	<p>卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わないが、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること。</p>		H22	
一般選抜(兵庫県枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2	<p>卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。</p>		H22	

医学科学士編入学	(iv)その他※備考欄に詳細を記入		5	0	<p>課題論文、成績証明書などの出願書類並びに学力試験及び面接の結果を総合し、学力、人間性共に優れた人材を合格者とします。面接試験において、医師としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。</p> <p>次の1から3の条件をすべて満たす者とする。 1. 卒業後は、鳥取大学医学部附属病院を含む鳥取県内の病院の研修プログラムで臨床研修及び専門研修を受けるとともに、鳥取県の地域医療に貢献することを確約する者。 2. 次の条件(1)～(3)のいずれかに該当する者。 (1) 大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者(医学部医学科を除く)。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位(学士(医学)を除く)を授与された者、又は外国においてこれに相当する学位を授与された者。 (3) (1)、(2)を満たさない者で、大学院修士課程又は博士課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者。 3. 次の条件(1)又は(2)のいずれかに該当する者。 (1) 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、兵庫県の高등학교を卒業した者。 (2) 父母のいずれかの現住所が鳥取県の者。 (父母については義理の父母も含むものとする。)</p>	R1	学士(2年次)編入学試験
合計			36	24			

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和3年度に実施する地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
学校推薦型選抜Ⅱ(特別養成枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(区別型)	5	5	0	<p>大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定します。「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。</p> <p>・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。</p> <p>・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。</p> <p>・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、「特別養成枠」の合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。「地域枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。</p> <p>・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。</p>	<p>鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」(※)の決定を受けている者で、高等学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した者(平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。)並びに令和4年3月卒業見込みの者(令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。)であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、次の各号に該当し、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)医学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 (2)合格した場合は、入学することを確約できる者 (3)推薦できる人数 卒業見込者:1高等学校につき8人以内(注) 既卒者:推薦人数の制限はない (注)一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。 (4)入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p>	H21以前	
学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(区別型)	5	0	0	<p>鳥取県内の高等学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した者(平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。)及び令和4年3月卒業見込みの者(令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。)であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、次の各号に該当し、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)医学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 (2)合格した場合は、入学することを確約できる者 (3)推薦できる人数 卒業見込者:1高等学校につき8人以内(注) 既卒者:推薦人数の制限はない (注)一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。 (4)入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p>	<p>鳥取県内の高等学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した者(平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。)及び令和4年3月卒業見込みの者(令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。)であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、次の各号に該当し、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)医学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 (2)合格した場合は、入学することを確約できる者 (3)推薦できる人数 卒業見込者:1高等学校につき8人以内(注) 既卒者:推薦人数の制限はない (注)一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。 (4)入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p>	H21以前	

一般選抜(鳥取県枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	14	12	<p>大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定します。</p> <p>大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。</p> <p>・「一般枠」「地域枠」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断します。</p> <p>「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。</p> <p>・面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。</p>	H22	
一般選抜(島根県枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5		H22	
一般選抜(兵庫県枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2		H22	

医学科学士編入学	(iv)その他※備考欄に詳細を記入		5	0	<p>課題論文、成績証明書などの出願書類並びに学力試験及び面接の結果を総合し、学力、人間性共に優れた人材を合格者とします。面接試験において、医師としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。</p> <p>次の1から3の条件をすべて満たす者とする。 1. 将来、鳥取県の地域医療に貢献したいという熱意と強い意志を持つ者で、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者。 ※本募集は、鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで、出願してください。(入学後、鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。) 2. 次の条件(1)～(3)のいずれかに該当する者。 (1) 大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者(医学部医学科を除く)。 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位(学士(医学)を除く)を授与された者、又は外国においてこれに相当する学位を授与された者。 (3) (1)、(2)を満たさない者で、大学院修士課程又は博士課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者。 3. 次の条件(1)又は(2)のいずれかに該当する者。 (1) 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、兵庫県の高등학교を卒業した者。 (2) 父母のいずれかの現住所が鳥取県の者。 (父母については義理の父母も含むものとする。)</p>	R1	学士(2年次)編入学試験
合計			36	24			

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和4年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次に「基礎地域医療学」、3年次に「総合診療-症候学-」、「研究室配属」を行い、4年次には、「臨床地域医療学」「地域医療体験」、そして5年次～6年次に、「臨床実習Ⅰ・Ⅱ」を学ぶなど、6年間を通じた地域医療教育プログラムを導入している。
 なお、地域医療教育サテライト施設を含む地域の病院・診療所で、実習を行う機会を確保している。また、キャリア支援として、5年生、6年生の鳥取県地域枠の学生に対して、グループ別に鳥取県・地域医療支援センター(附属病院内に設置)と地域医療学講座が共同でグループ面談を行っている。
 令和4年度も、引き続き地域医療教育プログラムを継続し、地域枠学生の教育等に万全を期す。

(参考:記入例)
 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■●を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成18年度から地域枠(推薦Ⅱ地域枠5名)を設置、平成22年度からは臨時定員の地域枠を設置し、鳥取県の医師確保に取り組んでいる。
 令和3年度までに265名の地域枠学生を確保し、そのうち118名が現在鳥取県内の病院等に勤務する医師として地域医療に貢献している。

(参考:記入例)
 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■●などの取組を行ってきた。令和3年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年次	基礎地域医療学	全員	必修	必修	講義	0.5	H30
3年次	総合診療-症候	全員	必修	必修	講義	1.5	H30
3年次	研究室配属	全員	必修	必修	実習	3.5	H26
4年次	臨床地域医療学	全員	必修	必修	講義	0.5	H21以前
4年次	地域医療体験	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
4年次～5年次	臨床実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	35	H21以前
6年次	臨床実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	18	H21以前

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみ場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください)
 ※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度
1-4年	くろさか春夏秋冬セミナー	地域枠学生	なし	季節ごと、1日づつ	医学科・保健学科・YMCA学生が混合でモデル地区(鳥取県日野町黒坂)に行って地域活動に参加する。	H25
全学年	サマーセミナー・スプリングセミ	地域枠学生	あり	夏休み、春休み	鳥取県内の希望する病院・診療所の見学をおこなう	H21以前
1-4年	文献検索マスター	地域枠学生	なし	年2回、2日間	地域医療に関する疑問について、ウェブでの文献検索する手法を教える	R3
1-4年	家庭医療学McWhinney読解コース	地域枠学生	なし	毎週1回	家庭医療テキストを学生と原著で輪読する	H28
1-4年	T-HOC日野セミナー	地域枠学生	なし	年1回、一日	T-HOC(在宅医療推進のための看護師育成支援事業)の地域開催イベントに参加してもらう。	R2
1-4年	映画鑑賞と地域医療	地域枠学生	なし	年2回、2日間	教員の作成した映画「下街ろまん」鑑賞と地域医療の関連を議論しレポートする。	R3

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和3年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
英国家庭医療研修	地域枠に限らず学生有志5名程度を選抜し、英国のケンブリッジ大学で1W程度の家庭医療研修を行う。R3はリモート開催を計画中。	H29

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定 主体	賞与人数	賞与対象	賞与額 (例: 200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定 の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総賞与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
鳥取県	12	新入生	150,000	10,800,000	大学を卒業した日の属する年度の翌年度の初日から起算して2年以内に医師免許を取得した後、直ちに県内の病院が管理を行う臨床研修を受け、当該臨床研修を開始した日から起算して臨時特別医師確保対策奨学金(以下この項において「奨学金」という。)の賞与を受けた期間の2倍に相当する期間内に、指定病院等において常勤医師としての業務に奨学金の賞与を受けた期間の1.5倍に相当する期間(以下この項において「免除条件期間」という。)以上通算して従事し、かつ、当該免除条件期間(臨床研修を受ける期間を除く。)内に、知事が指定した区域に所在する指定病院等において4年以上通算して従事	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず賞与	×	×		
鳥取県	5	新入生	150,000	10,800,000	大学を卒業した日から起算して2年以内に医師国家試験に合格し、当該試験に合格した年度の翌年度に医師として県職員に採用され、当該採用された日から起算して緊急医師確保対策奨学金の賞与を受けた期間の1.5倍に相当する期間を県職員として、勤務命令病院等において医師の業務に従事したとき。	①大学における選抜前に都道府県において面接等を実施	×	○	一定期間制限あり(内科、総合診療科、小児科、産科、救急科、精神科)	

兵庫県	2	新入生	約160,000	11,514,800	知事は、修学生が次の(1)、(2)のいずれかに該当するに至ったときは、修学資金の返還債務を免除するものとする。 (1) 大学を卒業し医師免許取得後、直ちに医師として指定医療機関に引き続いて勤務した期間(医師法(昭和23年法律第201号)第16条の2第1項の規定に基づく臨床研修を含む。)が9年間(貸与期間が4年未満の場合は5年間に達したとき。 (2) (1)に記載の勤務期間中に公務により死亡し、又は公務に起因する心身の故障のため免職されたとき。	②大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施	×	×	1年生のみ入学金(500,000円)を含む。
島根県	5	新入生	100,000	10,696,800	医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に、指定医療機関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて9年間指定医療機関(うち4年以上は特定地域医療機関)で医師の業務に従事したとき。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	×	×	総貸与額・返還免除条件については、令和4年度の内容を記載。島根県と内容についての協議は整っており、現在、島根県において条例及び規則の改正に向けた作業中である。(令和3年度中に改正)

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例: 在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
入試説明会	県と協力し、県内の高等学校へ入試の地域枠について概要、奨学金、キャリア形成等の説明会を開催している。	H21以前
在学者面談(島根県)	在学中は、毎年、島根県職員(医師)が学生と面談を行い、キャリア形成を支援。本学の地域医療学講座とも適宜情報を共有。	H26

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

3. その他

1~2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

毎年、大学と県内高等学校長との懇談会を開催している。その中で地域枠の説明と受験生確保について協力を依頼している。

2. 研究医養成のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 令和4年度研究医養成のための入学定員増について

大学が講ずる措置

※令和3年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

1. コンソーシアムの形成

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとにご記入ください。

	連携大学	取組の概要(1~3行程度)	(連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合) 連携大学との役割分担(※1)	開始年度
No.1				
No.2				
No.3				

(※1) 過去に研究医枠により入学定員増を実施したことがない大学のみご記入ください。過去に研究医枠による増員を行った大学については、当該欄は記入不要です。

2. 特別コース(※)の設定

(※)「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和3年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和4年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

(選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み(MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など)

--

(参考: 記入例)
MD-PhDコースや▲年次での大学院進学を促すとともに、○年次に選抜を行い、「○○」という科目等を開講して～～を学んでいる。学部・大学院での一貫した研究を促すため、△△、□□を行っている。またキャリア支援として、～～を実施している。令和4年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②研究医養成のための一貫した特別コースについて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

選抜の時期 (※1)	コースの名称	年次	募集定員 (※2)	大学院への進学時期 (※3)	開始年度	備考
選抜入試						
特定の学年次に希望者を募集						
その他(備考欄に詳細を記入)						

(※1)複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。

(※2)最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。

(※3)特別コースの学生の大学院進学時期について全てご記載ください。(例:5年次(MD-PhD)／卒後直後に進学／卒後、臨床研修後に進学／卒後、臨床研修と並行して進学)

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

研究医養成のために特別な入試を実施しているか。	
-------------------------	--

(「○」を選択した場合)以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	募集人数		選抜方法(※1)	開始年度	備考
			うち臨時定員分			
合計		0	0			

(※1)貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

④研究医養成のための教育内容(正規科目)について、以下をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実 習の別	単位数	開始年度
			研究医コース 学生	その他の 学生			

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。(研究医コース学生の希望者のみの場合は、対象者を「研究医コース学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。)

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑤大学の正規科目以外で、研究医養成プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1～2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

(項目: 専用入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮、研究医となった際の常勤ポストの確保、海外での研修の機会(1か月以上))

(項目)	概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦上記②～⑥以外に、研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。

(令和3年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

	R1	R2	R3	直近3年間の平均
人数(名)				#DIV/0!

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

3. 奨学金の設定

① 卒後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。
 複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

	名称	設定主体 (例: 大学、 ○○財団)	給付/貸与 の別	支給対象	募集人数	選抜の有無	支給期間 (例: 大学院1~3年次(3年 間))
No.1							
No.2							
No.3							

(続き)

	支給額 (例: 200,000)		返還免除要件	開始年度	備考
	月額	総支給額			
No.1					
No.2					
No.3					

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

(2) 研究医養成拠点として相応しい実績

①-1. 継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(入学年度)	R1	R2	R3	直近3年間の平均
基礎・社会系大学院進学者数〔A〕				#DIV/0!
臨床系大学院進学者数〔B〕				#DIV/0!

(博士課程修了年度)	H30	R1	R2	直近3年間の平均
〔A〕の修了者数〔C〕				#DIV/0!
〔B〕のうち、基礎・社会学系の論文(又は共著論文)を執筆した修了者数〔D〕				#DIV/0!
合計	0	0	0	0

①-2. その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

②-1. 継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(博士課程修了年度)	H30	R1	R2	直近3年間の平均
〔C〕〔D〕のうち、基礎・社会学研究分野の就職者数				#DIV/0!
〔C〕〔D〕のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数(※1)				#DIV/0!
合計	0	0	0	0

(※1) 一度臨床系(基礎系以外)に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。
(例: 臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者)

②-2. その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

③大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

採択事業名	採択年度 (○年度～ ○年度)	概要(1～3行程度)

④他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績(科学研究費採択率等)

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

概要(1～3行程度)

(3)過去に研究医枠による入学定員増を実施した場合の令和3年度における状況

①過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。

(例:第三者による評価、学内委員会による評価)

--

3. 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員増について

増員希望人数

(1) 歯学部入学定員の削減人数

①平成22年度～令和元年度における歯学部入学定員及び当該減員を根拠とする平成22年度～令和3年度の医学部の臨時定員増員数について、以下をご記入ください。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22～R1合計
歯学部入学定員												
歯学部編入学定員												
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
対前年減		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22～R1合計	R2	R3
歯学部入学定員の削減に伴う医学部の臨時定員増員数												0	0	0

(2) 令和4年度歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員増について

①当該入学定員増の概要(令和4年度)について、1～2行程度で簡潔にご記入ください。

	<p>(参考:記入例)</p> <p>○年度に歯学部定員を削減した△名分について、医学部定員の再増員を行う。</p>
--	--

大学別医学部入学定員一覧

大学名	属性 (国公私)	R3年度定員	本増員計画による 入学定員増を行わ ない場合の令和4 年度の入学定員	R4年度 増員数	R4年度 定員 (計画)
鳥取大学	国立	104	80	24	104

大学名	令和3年度 定員	本増員計画による 入学定員増を行わ ない場合の令和4 年度の入学定員	令和4年度増員計画			令和4年度 定員 (計画)	令和4年度増員計画	
			増員数	都道府県ごとの内訳			教育内容の概要	
鳥取大学	104	80	地域枠	24	鳥取県	17	104	1年次に「基礎地域医療学」、3年次に「総合診療-症候学-」、 「研究室配属」を行い、4年次には、「臨床地域医療学」「地 域医療体験」、そして5年次～6年次に、「臨床実習Ⅰ・Ⅱ」 を学ぶなど、6年間を通じた地域医療教育プログラムを導入し ている。 なお、地域医療教育サテライト施設を含む地域の病院・診療所 で、実習を行う機会を確保している。また、キャリア支援とし て、5年生、6年生の鳥取県地域枠の学生に対して、グルー プ別に鳥取県・地域医療支援センター（附属病院内に設置）と地 域医療学講座が共同でグループ面談を行っている。 令和4年度も、引き続き地域医療教育プログラムを継続し、地 域枠学生の教育等に万全を期す。
					兵庫県	2		
					島根県	5		
					0	0		
					0	0		
			0	0				
研究医枠	0		0					
歯学部振替枠	0		0					

令和3（2021）年度

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜（前期日程・後期日程）



鳥 取 大 学

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、今後、選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください31

第1 募集人員

学部	学科等		入学定員	募集人員							私費外国人留学生	
				前期日程	後期日程	総合型選抜	特別選抜			帰国生徒		社会人
							学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ				
地域学部	地域学科	地域創造コース	60 ^人	34 ^人	10 ^人	10 ^人	6 ^人			若干人	若干人	
		人間形成コース	55	38	13	4						
		国際地域文化コース	55	30	13	6	6					
	計		170	102	36	20	6	6				
医学部	医学科	一般枠	104	一般枠	58				25			
				地域枠								
				鳥取県枠	14							
				兵庫県枠	2							
			島根県枠	5								
	生命科学科	40	30	5		5						
	保健学科	看護学専攻	80	45	5		30		若干人	若干人		
検査技術科学専攻		40	22	5		13						
計		264	176	15		73						
工学部	機械物理系学科		115	74	37		4		若干人	若干人		
	電気情報系学科		125	82	31		5	7				
	化学バイオ系学科		100	54	41			5				
	社会システム土木系学科		110	81	18	2	4	5				
	計		450	291	127	2	13	17				
農学部	生命環境農学科		220	110	25	10	35	40	若干人	若干人		
	共同獣医学科		35	30				5				
	計		255	140	25	10	35	45				
合計		1,139	709	203	32	54	141					

- (注) 1. 帰国生徒及び社会人のための特別選抜の募集人員(若干人)は、それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
2. 医学部医学科前期日程の地域枠(鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠)の募集人員は、地域の医師確保のための臨時的な増員分であり、令和3年度選抜まで継続予定です。
この地域枠は一般枠とは別枠で選抜します。(合否判定方法についてはP.27参照)
ただし、鳥取県枠の募集人員14人のうち2人は、臨時的に増員された定員ではないため、選抜結果によっては一般枠に振り替えることがあります。
3. 医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員(45人)のうち、10人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
4. 医学部医学科学校推薦型選抜には、地域枠推薦及び特別養成枠推薦による募集人員を、医学部保健学科看護学専攻学校推薦型選抜には、地域枠推薦による募集人員を含みます。
5. 総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は学校推薦型選抜又は一般選抜の合格者で補充します。また、学校推薦型選抜Ⅰの合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は学校推薦型選抜Ⅱ又は一般選抜の合格者で補充します。さらに、学校推薦型選抜Ⅱで合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の合格者で補充します。
6. 学校推薦型選抜「Ⅰ」は、大学入学共通テストを課さないものであり、「Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。

第2 出 願 資 格

次のいずれかに該当し、かつ、令和3年度大学入学共通テスト（受験科目については、6ページの各学部・学科等の指定する教科・科目を参照）を受験した者

1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）上記3の学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせ願います。

問い合わせ先 学生部入試課 TEL (0857) 31-5061

入学資格審査申請期間 1回目 令和2年 8月 7日（金）～令和2年8月21日（金）17時まで（必着）

2回目 令和2年11月30日（月）～令和3年1月15日（金）17時まで（必着）

●一般選抜（前期日程）で医学部医学科「地域枠」に出願する場合

一般選抜（前期日程）で医学部医学科「地域枠」に出願する場合は、上記の出願資格に加え、志望する県（鳥取県、兵庫県、島根県）が示した出願要件を満たす必要があります。

各県の奨学金制度の趣旨を十分に理解のうえ出願してください。出願後に出願区分を変更することはできません。

なお、奨学金制度については、必ず当該県のホームページ等で確認してください。

1. 各県共通出願要件

入学後、県の奨学金を必ず受給し、かつ卒業後は当該県内の医療に従事する強い意志がある者

2. 県別の出願要件（卒業年度・出身地等）

	卒 業 年 度 等	出 身 地 等
① 鳥取県枠	卒業年度を問わない。	出身地，出身高等学校は県内外を問わない。
② 兵庫県枠	卒業年度を問わない。	出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。
③ 島根県枠	卒業年度を問わない。	出身地，出身高等学校は県内外を問わないが，卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し，地域医療に貢献する強い使命感を有していること。

・医学科鳥取県枠奨学金制度

奨学金の額	15万円/月（年額180万円）
貸付期間	6年間
返還免除の条件	① 卒業から2年以内に医師免許を取得 ② 鳥取県の定めるキャリア形成プログラムに沿って、臨床研修修了後9年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に6年間勤務
勤務先	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院、救急告示病院、精神科救急医療施設等
診療科	限定しない
初期研修	◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は、返還免除に係る年数として算定しない
ホームページ・問い合わせ先	奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。 ○鳥取県ホームページ https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361 ○鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 TEL：0857-26-7195 E-mail：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

・医学科兵庫県枠奨学金制度

奨学金の額	入学料（1年次のみ）・授業料等に相当する額
貸付期間	6年間
返還免除の条件	① 卒業から2年以内に医師免許を取得 ② その後9年間で兵庫県職員（医師）として、兵庫県が定める「県養成医師キャリア形成プログラム」に沿って知事が指定する医療機関等に勤務
勤務先	兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等
診療科	募集時には限定しない。兵庫県内で必要とされる分野については、入学後情報提供を行う（総合診療、内科、産科、小児科、救急科など）
初期研修	◆研修先は兵庫県が決定 ◆この期間は返還免除に係る年数として算定
ホームページ・問い合わせ先	奨学金制度の詳細については、兵庫県のホームページ等で確認をしてください。 ○兵庫県ホームページ https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/ishisyugakushikin.html ○奨学金に関する問い合わせ 兵庫県健康福祉部健康局医務課医療人材確保班 TEL：078-341-7711（内線3230） E-mail：imu@pref.hyogo.lg.jp

・医学科島根県枠奨学金制度

奨学金の額	10万円/月、及び入学料相当
貸付期間	大学の課程を修了する月まで。ただし、6年を超えることはできない。
返還免除の条件	① 大学の課程を修了した日から2年以内に医師免許を取得 ② 大学の課程を修了した日の属する月の翌月の初日から、12年を経過する日までの間に、島根県内の指定医療機関において臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて6年間（そのうち特定地域医療機関において3年以上）医師の業務に従事したとき。
勤務先	島根県内の指定医療機関に勤務（3年間は特定地域医療機関（松江市・出雲市以外の指定医療機関）に勤務）
診療科	限定しない
初期研修	◆島根県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定
その他	① 円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。 （しまね地域医療支援センター https://www.allshimane.jp/ ） ② 島根県の奨学金の貸与を受けた方については、円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう、島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に、卒業後、必ず参加していただきます。 （キャリア形成プログラム https://www.allshimane.jp/program/ ）
ホームページ・問い合わせ先	奨学金制度の詳細については、島根県のホームページ等で確認をしてください。 ○島根県ホームページ https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html ○奨学金に関する問い合わせ 島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室 TEL：0852-22-6684 E-mail：iryoushi@pref.shimane.lg.jp

●一般選抜（前期日程）で医学部保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」に出願する場合

一般選抜（前期日程）で医学部保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」に出願する場合は、3ページ上段の出願資格に加え、鳥取県が示した下記の出願要件を満たす必要があります。

奨学金制度の趣旨を十分ご理解のうえ出願してください。出願後に区別を変更することはできません。

なお、奨学金制度の詳細については、必ず鳥取県のホームページ等で確認してください。

出願要件

入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給し、かつ、卒業後は鳥取県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）又は看護教員として、その業務に従事しようとする者

・保健学科看護学専攻鳥取県看護職員養成枠奨学金制度

奨学金の額	6万円/月（年額72万円）
貸付期間	4年間
返還免除の条件	① 卒業から2年以内に看護師免許を取得 ② 県内の医療機関で常勤の看護職員（保健師、助産師、看護師）又は看護教員として引き続き6年間就業したとき。 ・半額免除：200床以上の病院（精神病床80%以上の病院、医療型障害児入所施設を除く。） ・全額免除：上記以外の県内の施設
ホームページ・問い合わせ先	奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。 ○鳥取県ホームページ https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=174254 ○奨学金に関する問い合わせ 鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 TEL：0857-26-7190 E-mail：kangoshikakuho@pref.tottori.lg.jp

【医 学 部（前期日程）】

(1) 志望方法

志望は、一つの学科・専攻に限ります。

医学科「地域枠」及び保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」の合格者は入学手続完了後、必ず県の奨学金の受給手続をしていただくことになります。奨学金制度については、必ず当該県のホームページ等で確認してください。出願後に出願区分を変更することはできませんので、奨学金制度の趣旨を十分に理解のうえ出願してください。

(2) 試験方法

大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果を総合して判定します。

なお、医学科においては、大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

医学科の面接試験においては、医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。

医学科では、「一般枠」の専願、「地域枠」の専願又は「一般枠」と「地域枠」の併願のいずれかに出願することができます。「一般枠」と「地域枠」を併願する者の合否判定は、「地域枠」を優先して行います。「地域枠」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。

保健学科看護学専攻では、「一般枠」の専願、「鳥取県看護職員養成枠」の専願又は「一般枠」と「鳥取県看護職員養成枠」の併願のいずれかに出願することができます。「一般枠」と「鳥取県看護職員養成枠」を併願する者の合否判定は、「鳥取県看護職員養成枠」を優先して行います。「鳥取県看護職員養成枠」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。

① 個別学力検査等

学 科 ・ 専 攻		教 科 ・ 科 目 等		摘 要
医 学 科		数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	
		理 科	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 } から2	
		外 国 語	英語	
		面 接	※	
生 命 科 学 科		数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	
		理 科	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 } から2	
		外 国 語	英語	
		面 接	※	
保 健 学 科	看 護 学 専 攻	外 国 語	英語	数学及び外国語の2教科から1教科を選択
	検 査 技 術 科 学 専 攻	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	
		外 国 語	英語	

- (注) 1. 数学Bでは「数列」、「ベクトル」の2分野を出題範囲とします。
 2. 英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて出題します。
 3. 医学科及び生命科学科の理科の受験科目については、出願時に「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から2科目を選択することになります。なお、試験当日に変更することはできません。
 4. 保健学科検査技術科学専攻の数学及び外国語は、出願時に2教科または1教科を選択することになります。なお、両教科を受験した場合は、高得点の教科の成績を用います。また、試験当日に受験する教科を変更することが可能です。
 ※医学科の「地域枠」のうち「兵庫県枠」に出願した者は、本学の面接試験のほか、兵庫県の行う面接が令和3年2月27日（土）にあります。面接会場等詳細については受験票送付時にご案内します。

●面接の内容

学 科	科目等	内 容
医 学 科	面 接	個人面接によって、社会常識、問題意識、医学を志す動機などについて質問し、その対応などを通じて、医師となるのにふさわしい資質、思考の柔軟性、発言の論理性等を総合的に評価します。

② 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点

学科・専攻	試験の区分	教 科 等							総 計	備 考
		国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外 国 語	面 接	自己評価シート 調査書		
医 学 科	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200			900	1,600
	個別学力検査等			200	200	200	100		700	
生 命 科 学 科	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200			900	1,820
	個別学力検査等			300	300	300			900	
	書類審査							20	20	

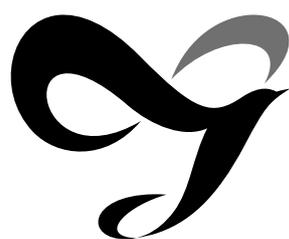
4 前期日程合否判定方法

学 部	学 科 等	合 否 判 定 方 法
地 域 学 部	地域学科地域創造コース	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	地域学科人間形成コース	
	地域学科国際地域文化コース	
医 学 部	医学科	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。 ・「一般枠」「地域枠」のそれぞれの区分で総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断します。「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。
	生命科学科	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	保健学科看護学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠」「鳥取県看護職員養成枠」の2つの区分に関わらず総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は同順位とします。 ・「一般枠と鳥取県看護職員養成枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「鳥取県看護職員養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」としての選抜の対象となります。
	保健学科検査技術科学専攻	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
工 学 部	機械物理系学科	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	電気情報系学科	
	化学バイオ系学科	
	社会システム土木系学科	
農 学 部	生命環境農学科	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	共同獣医学科	

令和3（2021）年度

学校推薦型選抜Ⅱ 学生募集要項

（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）



鳥取大学

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、今後、選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

医 学 部

1. 募集人員

学 科 等		募 集 人 員	
医 学 科	一般枠	15人	
	地域枠	5人	
	特別養成枠	5人	
生 命 科 学 科		5人	
保 健 学 科	看 護 学 専 攻	30人（地域枠10人以内を含む）	
	検 査 技 術 科 学 専 攻	13人	
計		73人	

(注) 合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の合格者で補充します。

医学科の「一般枠」合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の合格者で補充します。

医学科の「地域枠」合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。それでもなお、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の合格者で補充します。

医学科の「特別養成枠」は、「一般枠」「地域枠」とは別枠で選抜し、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は「一般枠」「地域枠」及び一般選抜の合格者では補充しません。

なお、「特別養成枠」は、地域の医師確保のための臨時的な増員分であり、令和3年度入試まで継続予定です。

2. 出願要件

令和3年度大学入学共通テストを受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

学 科 等	出 願 要 件	
医 学 科	一般枠	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和3年3月31日までに満18歳に達する者で、医学に興味を持ち、人物が優秀で、高等学校等の学習成績概評がA段階に属する者</p> <p>【推薦できる人数は、1高等学校等につき8人以内とする】(注)</p>
	地域枠	<p>鳥取県内の高等学校を平成31年3月及び令和2年3月に卒業した者（平成30年4月から令和2年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、医学に興味を持ち、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で、高等学校の学習成績概評がA段階に属し、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>この地域枠については、鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで、出願してください。（入学後、鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）</p> <p>【推薦できる人数は、1高等学校等につき9人以内とする】 (内訳) 卒業見込者：1高等学校等につき8人以内（注） 既卒者：1人以内</p>
	特別養成枠	<p>鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」(※)の決定を受けている者で、高等学校を平成31年3月及び令和2年3月に卒業した者（平成30年4月から令和2年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）並びに令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、医学に興味を持ち、人物・学力が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>【推薦できる人数】 (内訳) 卒業見込者：1高等学校等につき8人以内(注) 既卒者：推薦人数の制限はない</p> <p>※「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」については、鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課（TEL(0857)26-7195）に問い合わせてください。</p>
(注)1高等学校等につき推薦できる人数は、一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。		

生命科学科	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和3年3月31日までに満18歳に達する者で，生命科学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者</p>		
保健学科	看護学専攻	一般枠	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和3年3月31日までに満18歳に達する者で，次の各号のいずれかに該当する者（なお，(2)に該当する者を(1)で推薦することはできません。）</p> <p>(1) 医療に興味を持ち，人物・学力が優秀な者 【推薦できる人数は，1高等学校等につき5人以内とする】</p> <p>(2) 看護学の修得に熱意を持ち，人物・学力が優秀で，高等学校等の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者 【推薦できる人数は，1高等学校等につき1人以内とする】</p>
		地域枠	<p>将来，鳥取県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）又は看護教員としてその業務に従事しようとする者で，原則として鳥取県内の高等学校を令和2年3月に卒業した者（平成31年4月から令和2年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）で，次の各号のいずれかに該当し，入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者（なお，(2)に該当する者を(1)で推薦することはできません。）</p> <p>(1) 医療に興味を持ち，人物・学力が優秀な者 【推薦できる人数は，1高等学校等につき6人以内とする】 (内訳) 卒業見込者：一般枠を含め5人以内 既卒者：1人以内</p> <p>(2) 看護学の修得に熱意を持ち，人物・学力が優秀で，高等学校の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者 【推薦できる人数は，1高等学校等につき1人以内とする】 この地域枠については，鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨を良く理解したうえで，出願してください。（入学後，鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）</p>
	検査技術科学専攻	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者（令和2年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和3年3月31日までに満18歳に達する者で，医療に興味を持ち，人物・学力が優秀な者 【推薦できる人数は，1高等学校等につき3人以内とする】</p>	

○医学科の「地域枠」及び「特別養成枠」等の出願について

・高等学校の卒業年月と出願区分については，以下のとおりです。

卒業年月	出願区分	一般枠	地域枠 (鳥取県内の高等学校に限る)	特別養成枠
令和2年4月～令和3年3月(卒業見込み)		○	○	○
平成31年4月～令和2年3月		×	○	○
平成30年4月～平成31年3月		×	○	○

・卒業見込者は「一般枠，地域枠，特別養成枠」の最大3区分まで併願が可能です。

・既卒者は「地域枠と特別養成枠」の併願が可能です。

・出願後に出願区分を変更することはできませんので，鳥取県の奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。

・医学科地域枠奨学金制度

奨学金の額	12万円/月（年額144万円）
貸付期間	6年間
返還免除の条件	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②臨床研修期間を含め11年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に6年間勤務
勤務先	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院（小児科・産科・救急科・精神科の場合、がん薬物療法専門医又は放射線治療専門医を取得するための業務又は専門医としての業務に従事する場合は3年を、その他の診療科の場合は1年を上限とする）、救急告示病院（鳥取大学附属病院を除く）、精神科救急医療施設等
診療科	限定しない
初期研修	◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定

・医学科特別養成枠奨学金制度

奨学金の額	15万円/月（年額180万円）
貸付期間	6年間
返還免除の条件	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②医師免許取得後知事の指定する鳥取県内医療機関に9年間勤務（臨床研修期間を含む）
勤務先	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院（鳥取大学附属病院、国関係機関を除くが、初期研修・後期研修の場合にあってはその限りではない。）
診療科	派遣先の病院からの要望状況により診療科が限定される場合あり。 ※現在のところ「内科、産科、小児科（脳神経小児科を含む）、精神科、救急科」への派遣を想定。
初期研修	◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定

その他、地域枠及び特別養成枠奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

○鳥取県ホームページ

<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361>

○奨学金に関する問い合わせ

鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課

電話：0857-26-7195 E-mail：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

○保健学科看護学専攻の「地域枠」の出願について

- ・鳥取県内高等学校の既卒者は「地域枠」のみ、卒業見込者は「一般枠」、「地域枠」及び「一般枠と地域枠の両方」のいずれかの区分で出願できます。
- ・鳥取県出身で鳥取県以外の高等学校に進学した者についても、出願を受理する場合があります。鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課へお問い合わせください。

・保健学科看護学専攻地域枠奨学金制度

奨学金の額	6万円/月（年額72万円）
貸付期間	4年間
返還免除の条件	② 卒業から2年以内に看護師免許を取得 ②県内の医療機関で常勤の看護職員（保健師、助産師、看護師）又は看護教員として引き続き6年間就業したとき。 ・半額免除：200床以上の病院（精神病床80%以上の病院、医療型障害児入所施設を除く。） ・全額免除：上記以外の県内の施設

その他、奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

○鳥取県ホームページ

<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=174254>

○奨学金に関する問い合わせ

鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課

電話：0857-26-7190 E-mail：kangoshikakuho@pref.tottori.lg.jp

3. 選 抜 方 法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、選抜方法を変更（オンラインでの面接など）する場合があります。その場合、ホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

(1) 選 考 要 領

学 科	選 考 要 領
医 学 科	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。
生 命 学 科	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。
保 健 学 科	大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，小論文及び面接の結果により総合判定します。 なお，看護学専攻については，高等学校等の「衛生看護科」と「衛生看護科以外の学科」はそれぞれ別に評価します。

- (注) 1. 医学科の面接については，個人面接によって，社会常識，問題意識，医学を志す動機などについて質問し，その対応などを通じて，医師となるのにふさわしい資質，思考の柔軟性，発言の論理性等を総合的に評価します。
2. 生命科学科の面接については，個人又は集団で行います。
最近若しくは古今の重大発見に対する理解度や考え方の独創性などを評価します。
また，生命科学科を志す理由や将来展望など生命科学研究者としての資質，感性，倫理観及びコミュニケーション能力などを評価します。
3. 保健学科の面接については，個人又は集団面接によって，社会常識，問題意識，志向などについて質問し，その対応などを通じて，総合的に評価します。

(2) 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点

学 科 等	試験の区分	教 科 等								合計	
		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計		
医 学 科	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200			900	1,000	
	個別学力検査等							100	100		
生 命 学 科	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200			900	1,100	
	個別学力検査等							200	200		
保 健 学 科	看護学専攻	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200			700	900
		個別学力検査等						100	100	200	
	検査技術科学専攻	大学入学共通テスト	100	100	200	200	200			800	1,000
		個別学力検査等						100	100	200	

- (注) 大学入学共通テストの「英語」の得点は，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の得点比率を4：1として合計200点満点に換算したものを「英語」の得点とします。
なお，リスニングを免除された者は，リーディング（100点満点）を200点満点に換算したものを「英語」の得点とします。

4. 合否判定方法

学部	学科等	合否判定方法
地域学部	地域学科 国際地域文化コース	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
医学部	医学科	<p>「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。 ・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、「特別養成枠」の合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となり、「地域枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。
	生命科学科	<p>総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、大学入学共通テストの数学・理科・外国語の合計が概ね70%に満たない場合は、合格者となりえないことがあります。
	保健学科 看護学専攻	<p>「一般枠」「地域枠」の2つの区分に関わらず総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。
	保健学科 検査技術科学専攻	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
工学部	電気情報系学科	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	化学バイオ系学科	
	社会システム土木系学科	
農学部	生命環境農学科	<p>総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集方法（B）「地域貢献型」の合否判定方法は、募集方法（B）「地域貢献型」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、募集方法（A）「課題探求型」として選抜の対象となります。
	共同獣医学科	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。

5. 合格発表 令和3年2月12日（金）

合格者に「合格通知書」を送付するとともに、鳥取大学ホームページ(<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。（午前11時頃の予定。掲示による合格発表は行わないので、注意してください。）

また、合否の結果を高等学校等の長へ文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

試験当日又は前日に、大学周辺や主要駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

令和4（2022）年度

入 学 者 選 抜 概 要



鳥 取 大 学

本概要は、令和4（2022）年度鳥取大学入学者選抜に関する基本的な事項についてのみ記載したものです。詳細については、各選抜の学生募集要項でお知らせしますので出願に際しては、必ずご確認ください。なお、学生募集要項の冊子での配布は行いませんので、次の発表時期以降、ホームページからダウンロードしてください。

鳥取大学入学試験情報ホームページ <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

- | | |
|---|----------|
| ① 一 般 選 抜 | 1 1 月上旬頃 |
| ② 総 合 型 選 抜 | 7 月中頃 |
| ③ 学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科及び保健学科），
社会人選抜（医学部保健学科） | 9 月上旬頃 |
| ④ 学校推薦型選抜Ⅱ（地域学部，医学部生命科学科，工学部，農学部），
帰国生徒選抜，社会人選抜（地域学部，工学部，農学部），私費外国人
留学生選抜 | 1 0 月上旬頃 |

医 学 部

医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成します。

医学部は、山陰地方の歴史と伝統のある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行います。そして、限りない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指します。

医学部の理念・教育目標を達成するため、各学科では次のような人を求めます。

医学科

医学部医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成するために、次のような人を広く受け入れます。

1. 医学に関心があり、目標に向かって継続的に努力できる人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人
3. 問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人
4. 思いやり、責任感及び協調性のある健全な考え方もつ人
5. 医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人
6. 地域・国際医療に関心をもち、貢献したいと考えている人

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、多角的視野など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

※各選抜方式・選抜方法と求める能力の関連

選抜方式	選抜方法	求める能力						配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	向上心 創造力 探究心	多角的 視野		
学校推薦型 選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○					900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)		○	○	○	○	○	100	調査書・推薦書は、面接の際の参考にする。
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○					900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○				600	
	個別試験(面接)		○	○	○	○	○	100	自己評価シートと調査書は、面接の際の参考にする。

生命科学科

医学部生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を目指す、次のような人を広く受け入れます。

1. 学修に必要な高等学校等までの理科(生物、物理、化学)の知識と基本的な語学力と国語力を備えた人
2. 現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学ぶとともに向上・発展させる研究活動に興味を持つことができる人
3. 真理探究の意欲を有し、創造的目標の達成にチャレンジでき、そして勉強・自己研鑽に努力をおしまない人
4. 協調性を備え、生命科学を通して国際的な広い視野と仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

※各選抜方式・選抜方法と求める能力の関連

選抜方式	選抜方法	求める能力					配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
学校推薦型 選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	○	○	200	「知識・技能」と「思考力・判断力」を中心に総合的な観点から、科学的知識、倫理観、科学者としての資質を5段階で評価する。調査書、推薦書は、面接の際の「主体性・協働性」ならびに「創造性」の評価の参考にする。
	調査書				○	○		
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○			900	個別試験(教科)では、主に「知識・技能」と「表現力」を3科目 各300点で評価する。
	自己評価シート 調査書				○	○	20	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	○	○	200	「知識・技能」と「思考力・判断力」を中心に総合的な観点から、科学的知識、倫理観、科学者としての資質を5段階で評価する。自己評価シート、調査書は、面接の際の「主体性・協働性」ならびに「創造性」の評価の参考にする。

3. 募集人員

学部	学 科 等		入学 定員	募集人員								
				前期 日程	後期 日程	総合型 選 抜	学校推薦型 選 抜		帰国 生徒	社会人	私 費 留 学 人 生	
							I	II				
地域学部	地域学科	地域創造コース	人 60	人 34	人 10	人 10	人 6	人	若干人	若干人	若干人	
		人間形成コース	55	38	13	4						
		国際地域文化コース	55	30	13	5	7					
	計		170	102	36	19	6	7				
医学部	医 学 科 ※		80	一般枠	58				20	若干人	若干人	
				地域枠 (鳥取県枠)	2							
	生 命 科 学 科		40	30		5		5				
	保健学科	看 護 学 専 攻	80	45		5		30	若干人			
		検 査 技 術 科 学 専 攻	40	22		5		13				
計		240	157		15		68					
工学部	機 械 物 理 系 学 科		115	74		37		4	若干人	若干人	若干人	
	電 気 情 報 系 学 科		125	82		31		5				
	化 学 バ イ オ 系 学 科		100	54		41		5				
	社 会 シ ス テ ム 土 木 系 学 科		110	81		18	2	4				5
	計		450	291		127	2	13				17
農学部	生 命 環 境 農 学 科		220	110		20	12	40	38	若干人	若干人	
	共 同 獣 医 学 科		35	30				5				
	計		255	140		20	12	40	43			
合 計			1,115	690		198	33	59	135			

(注)

1. 帰国生徒選抜及び社会人選抜の募集人員(若干人)は,それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
2. 鳥取県枠の募集人員2人は, 臨時的に増員された定員ではないため, 選抜結果によっては一般枠に振り替えることがあります。
3. 医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員(45人)のうち,10人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
4. 医学部医学科学校推薦型選抜及び保健学科看護学専攻学校推薦型選抜には, 地域枠推薦による募集人員を含みます。
5. 総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合, その欠員は学校推薦型選抜又は一般選抜の合格者で補充します。また, 学校推薦型選抜 I の合格者が募集人員に満たない場合, その欠員は学校推薦型選抜 II 又は一般選抜の合格者で補充します。さらに, 学校推薦型選抜 II で合格者が募集人員に満たない場合, その欠員は一般選抜の合格者で補充します。
6. 学校推薦型選抜「I」は, 大学入学共通テストを課さないものであり, 「II」は大学入学共通テストを課すものです。

※ 医学部医学科では, 前期日程で「地域枠(募集人員19人(鳥取県枠12人, 兵庫県枠2人, 島根県枠5人))」及び学校推薦型選抜 II で緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠(募集人員5人)」を継続申請予定です。予定であり, 変更があり得ますので, 学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

4. 入学者選抜方法等

(一般選抜)

学部・学科等名				選抜方法等	2 段階 選抜	個別学力検査等		
						個別 学力 検査	小 論 文	面 接
地域学部	前期 日程	地域学科	地域創造コース	—	—	○	—	
			人間形成コース	—	○	—	—	
			国際地域文化コース	—	○	—	—	
	後期 日程	地域学科	地域創造コース	—	—	○	—	
			人間形成コース	—	○	—	—	
			国際地域文化コース	—	—	○	—	
医学部	前期 日程	医 学 科		○	○	—	○	
		生 命 科 学 科		—	○	—	—	
		保健学科	看護学専攻	—	○	—	—	
			検査技術科学専攻	—	○	—	—	
	後期 日程	生 命 科 学 科		—	—	—	○	
		保健学科	看護学専攻	—	—	○	○	
検査技術科学専攻	—		—	—	○	○		
	工学部	前期 日程	全 学 科		—	○	—	—
後期 日程		全 学 科		—	○	—	—	
農学部	前期 日程	生 命 環 境 農 学 科		—	○	—	—	
		共 同 獣 医 学 科		—	○	—	—	
	後期 日程	生 命 環 境 農 学 科		—	—	—	○	

[備考]

1. 医学部医学科の前期日程において2段階選抜を実施します（詳細は20頁）。その他の学部・学科では、2段階選抜を実施しません。
2. 欠員が生じた場合は、追加合格を行うほか、欠員補充第2次募集を実施することがあります。

医学部医学科では、前期日程で「地域枠（募集人員19人（鳥取県枠12人、兵庫県枠2人、島根県枠5人）」及び学校推薦型選抜Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員5人）」を継続申請予定です。予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

(総合型選抜, 学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ, 帰国生徒選抜, 社会人選抜)

選抜方法等 学部・学科等名			総合型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ			学校推薦型選抜Ⅱ			帰国生徒選抜	社会人選抜	
				大学入学共通テスト	小論文	面接	大学入学共通テスト	小論文	面接			
地域学部	地域学科	地域創造コース	○	—	○	○	/			○	○	
		人間形成コース		/								
		国際地域文化コース					○	—	○			
医学部	医 学 科		/	/			○	—	○	/	/	
	生 命 科 学 科						○	—	○			
	保健学科	看護学専攻					○	○	○			○
		検査技術科学専攻					○	○	○			
工学部	機 械 物 理 系 学 科		/	—	—	○	/			○	○	
	電 気 情 報 系 学 科			—	—	○						○
	化 学 バイオ系学科			/			○	—	○			
	社会システム土木系学科						○	—	○			
農学部	生 命 環 境 農 学 科		○	—	—	○	○	○(注)	○	○	○	
	共 同 獣 医 学 科			/	/			○	○	○	/	/

[備考]

(注) ……募集方法(B) : 地域貢献型のみ実施します。

医学部医学科では、前期日程で「地域枠(募集人員19人(鳥取県枠12人, 兵庫県枠2人, 島根県枠5人))」及び学校推薦型選抜Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠(募集人員5人)」を継続申請予定です。予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

(1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

実施学部・学科等名	全学部全学科
募集人員	「3. 募集人員」（15ページ）参照
出願資格	<p>次のいずれかに該当し、かつ、令和4年度大学入学共通テストで志願する学部・学科等の指定する教科・科目を受験している者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>〔注〕上記（3）の学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせ願います。 （申請期間等は、55ページの「7. 個別の入学資格審査」を参照してください。）</p>
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定します。</p> <p>（学部・学科別の大学入学共通テスト、個別学力検査等の教科・科目及び配点は、19～22ページの「1）一般選抜 実施教科・科目等」を参照してください。）</p>
出願期間	<p>令和4年1月24日（月）～2月4日（金）17時まで（必着）</p> <p>出願書類等を郵送する場合は、必ず簡易書留・速達とし、2月4日（金）までに必着となるように郵送してください。これ以降に到着した場合は、2月3日（木）以前の発信局消印があるものに限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。</p> <p>出願書類等を持参する場合は、9時から17時まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日は受け付けません。</p>
選抜期日	<p>前期日程：令和4年2月25日（金）、26日（土）</p> <p>後期日程：令和4年3月12日（土）</p> <p>〔注〕2月26日（金）は、医学部医学科のみ試験を行います。</p>
合否判定方法	「2）一般選抜 合否判定方法」（24ページ）参照
合格発表日	<p>前期日程：令和4年3月7日（月）</p> <p>後期日程：令和4年3月20日（日）</p>
その他	

備 考

1. 個別学力検査等に関する注意事項

- ① 「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」は全範囲を出題範囲とします。
- ② 「数学B」では「数列」，「ベクトル」の2分野を出題範囲とします。
- ③ 「物理基礎・物理」は物理基礎，物理の全範囲を出題範囲とします。
- ④ 「化学基礎・化学」は化学基礎，化学の全範囲を出題範囲とします。
- ⑤ 「生物基礎・生物」は生物基礎，生物の全範囲を出題範囲とします。
- ⑥ 「英語」は「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて出題します。
出題範囲は以上のとおりです。

2. 大学入学共通テスト及び個別学力検査の出題教科・科目名は，次のように略しています。

教 科	科 目 名 等
国語 → 国	
地理歴史・→ 地歴・ 公 民 公民	「世界史A」→「世A」，「世界史B」→「世B」 「日本史A」→「日A」，「日本史B」→「日B」 「現代社会」→「現社」，「倫理」→「倫」，「政治・経済」→「政経」 「倫理，政治・経済」→「倫・政経」
数学 → 数	「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」，「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」，「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」， 「数学A」→「数A」，「数学B」→「数B」， 「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」，「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」， 「簿記・会計」→「簿・会」，「情報関係基礎」→「情報」
理科 → 理	
外国語 → 外	「英語」→「英」，「ドイツ語」→「独」，「フランス語」→「仏」， 「中国語」→「中」，「韓国語」→「韓」

2) 一般選抜可否判定方法

前期日程

学部	学科等	可否判定方法
地学 域部	地域学科地域創造コース	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	地域学科人間形成コース	
	地域学科国際地域文化コース	
医学部	医 学 科	<p>大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「一般枠」「地域枠」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断します。「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の可否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。
	生 命 科 学 科	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	保健学科看護学専攻	<ul style="list-style-type: none"> 「一般枠」「鳥取県看護職員養成枠」の2つの区分に関わらず大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は同順位とします。 「一般枠と鳥取県看護職員養成枠の両方」の区分で出願した場合の可否判定方法は、「鳥取県看護職員養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」としての選抜の対象となります。
	保健学科検査技術科学専攻	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
工学部	機 械 物 理 系 学 科	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	電 気 情 報 系 学 科	
	化 学 バイオ系 学 科	
	社会システム土木系学科	
農学部	生 命 環 境 農 学 科	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	共 同 獣 医 学 科	

後期日程

学部	学科等	可否判定方法
地学 域部	地域学科地域創造コース	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	地域学科人間形成コース	
	地域学科国際地域文化コース	
医学部	生 命 科 学 科	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	保健学科看護学専攻	
	保健学科検査技術科学専攻	
工学部	機 械 物 理 系 学 科	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	電 気 情 報 系 学 科	
	化 学 バイオ系 学 科	
	社会システム土木系学科	
農学部	生 命 環 境 農 学 科	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、可否を判定します。同点の場合は、同順位とします。

2) 学校推薦型選抜Ⅱ

実施学部・学科等名	地 域 学 部 地域学科国際地域文化コース																																																			
募 集 人 員	7 人																																																			
出 願 要 件	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和4年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストのうち、本コースが定めた所定の全教科・科目を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 人物、学業成績がともに優れ、以下のいずれかに該当する者</p> <p style="margin-left: 20px;">a. 言語・文学・考古・歴史を軸に日本の文化を学びたい人</p> <p style="margin-left: 20px;">b. グローバルな感覚をもって語学力や現地感覚を身につけたい人</p> <p style="margin-left: 20px;">c. 様々な文化・芸術に関心をもち、クリエイティブな力を高め活かしたい人</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>																																																			
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、推薦書、自己推薦書（2,000字以内）、調査書及び面接の結果により総合判定します。</p> <table border="1" data-bbox="485 882 1437 1279" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">教 科</th> <th style="text-align: center;">科 目 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">国</td> <td>国語（必須）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地歴・</td> <td>世B, 日B, 地理B,</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数</td> <td>数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">理</td> <td>物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は物理, 化学, 生物, 地学から1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">〔3教科3（4）科目〕</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 地理歴史・公民, 数学, 理科から2科目以上受験した場合は、地理歴史・公民, 理科の第1解答科目と数学のうち高得点の科目の成績を用います。 ただし、理科で、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）及び基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。</p> <p style="margin-left: 20px;">2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> <table border="1" data-bbox="485 1469 1437 1637" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">試験の 区 分</th> <th colspan="6" style="text-align: center;">大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">合計</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">備考</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">国語</th> <th style="text-align: center;">地歴・ 公民</th> <th style="text-align: center;">数学</th> <th style="text-align: center;">理科</th> <th style="text-align: center;">外国語</th> <th style="text-align: center;">面接</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">大学入学共通テスト</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">◆100</td> <td style="text-align: center;">◆100</td> <td style="text-align: center;">◆100</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">500</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">800</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個別学力検査等</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 配点欄の◆印は選択科目を示します。 2. 大学入学共通テストの「英語」の得点は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)をリーディング(160点満点)とリスニング(40点満点)に換算し、換算後の合計得点を「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)を200点満点に換算したものを「英語」の得点とします。</p>	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国	国語（必須）	地歴・	世B, 日B, 地理B,	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は物理, 化学, 生物, 地学から1	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	〔3教科3（4）科目〕		試験の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点						合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	計	大学入学共通テスト	200	◆100	◆100	◆100	200		500	800	個別学力検査等						300	300
大学入学共通テストの利用教科・科目名																																																				
教 科	科 目 名 等																																																			
国	国語（必須）																																																			
地歴・	世B, 日B, 地理B,																																																			
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																																																			
数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報																																																			
理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は物理, 化学, 生物, 地学から1																																																			
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1																																																			
〔3教科3（4）科目〕																																																				
試験の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点						合計	備考																																												
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接			計																																											
大学入学共通テスト	200	◆100	◆100	◆100	200		500	800																																												
個別学力検査等						300	300																																													
出 願 期 間	令和4年1月18日（火）～1月21日（金）																																																			
選 抜 期 日	令和4年2月4日（金）																																																			
合 否 判 定 方 法	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。																																																			
合 格 発 表 日	令和4年2月10日（木）																																																			
そ の 他																																																				

学校推薦型選抜Ⅱ

実施学部・学科等名	医 学 部
	医 学 科
募 集 人 員	一般枠 15人
	地域枠 5人 「特別養成枠（募集人員5人）」を申請予定
出 願 要 件	<p>一般枠</p> <p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和4年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、次の各号に該当し、人物が優秀で、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（1）医学に興味を持ち、人物が優秀で、高等学校等の学習成績概評がA段階に属する者 ただし、推薦できる者は、1高等学校等につき8人以内とする。（注）</p> <p>（2）合格した場合は、入学することを確約できる者</p>
	<p>地域枠</p> <p>鳥取県内の高等学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した者（平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、次の各号に該当し、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（1）医学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者</p> <p>（2）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（3）推薦できる人数 卒業見込者：1高等学校につき8人以内（注） 既卒者：推薦人数の制限はない</p> <p>（4）入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>※ 出願後に出願区分を変更することはできませんので、鳥取県の奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。奨学金制度の詳細については、学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項及び鳥取県のホームページで必ず確認をしてください。</p>
	<p>特別養成枠（申請予定）</p> <p>鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」（※）の決定を受けている者で、高等学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した者（平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）並びに令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験する者で、次の各号に該当し、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（1）医学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者</p> <p>（2）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（3）推薦できる人数 卒業見込者：1高等学校につき8人以内（注） 既卒者：推薦人数の制限はない</p> <p>（4）入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>※ 「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」については、鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課医療人材確保室（TEL（0857）26-7195）までお問い合わせください。</p>

（注）一般枠、地域枠、特別養成枠の人数の合計。

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員5人）」を継続申請予定です。
予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

学校推薦型選抜Ⅱ

選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> </tr> <tr> <th>教 科</th> <th>科 目 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国語（必須）</td> </tr> <tr> <td>地歴・ 公民</td> <td>世B、日B、地理B、 倫・政経 } から1</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須）</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理、化学、生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏から1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">〔5教科7科目〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）地理歴史・公民で2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。（指定する科目を第1解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験の 区 分</th> <th colspan="7">大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>地歴・ 公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>面接</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入学共通テスト</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> <td>900</td> <td rowspan="2">1,000</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）大学入学共通テストの「英語」の得点は、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）をリーディング（160点満点）とリスニング（40点満点）に換算し、換算後の合計得点を「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）を200点満点に換算したものを「英語」の得点とします。</p>	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国	国語（必須）	地歴・ 公民	世B、日B、地理B、 倫・政経 } から1	数	数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須）	理	物理、化学、生物から2	外	英、独、仏から1	〔5教科7科目〕		試験の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点							合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	計	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200		900	1,000		個別学力検査等						100	100
	大学入学共通テストの利用教科・科目名																																																			
	教 科	科 目 名 等																																																		
国	国語（必須）																																																			
地歴・ 公民	世B、日B、地理B、 倫・政経 } から1																																																			
数	数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須）																																																			
理	物理、化学、生物から2																																																			
外	英、独、仏から1																																																			
〔5教科7科目〕																																																				
試験の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点							合計	備考																																											
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	計																																													
大学入学共通テスト	200	100	200	200	200		900	1,000																																												
個別学力検査等						100	100																																													
出 願 期 間	令和3年11月5日（金）～11月9日（火）																																																			
選 抜 期 日	令和3年12月4日（土）																																																			
合 否 判 定 方 法	<p>「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。 「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、「特別養成枠」の合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となり、「地域枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。 																																																			
合 格 発 表 日	令和4年2月10日（木）																																																			

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員5人）」を継続申請予定です。
 予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

学校推薦型選抜Ⅱ

そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の卒業年月と出願区分については、以下のとおりです。（特別養成枠は申請予定） 			
	出願区分	一般枠	地域枠 (鳥取県内の高等 学校に限る)	特 別 養 成 枠
	卒業年月			
	令和3年4月～令和4年3月(卒業見込み)	○	○	○
	令和2年4月～令和3年3月	×	○	○
平成31年4月～令和2年3月	×	○	○	
※特別養成枠が認められた場合 <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県には、学校推薦型選抜Ⅱ地域枠及び特別養成枠入学者を対象とした奨学金制度が設けられています。出願にあたっては、奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。奨学金については鳥取県のホームページ等で確認をしてください。 卒業見込者は「一般枠，地域枠，特別養成枠」の最大3区分まで併願が可能です。 既卒者は「地域枠と特別養成枠」の併願が可能です。 出願後に出願区分を変更することはできません。 				

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員5人）」を継続申請予定です。
 予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

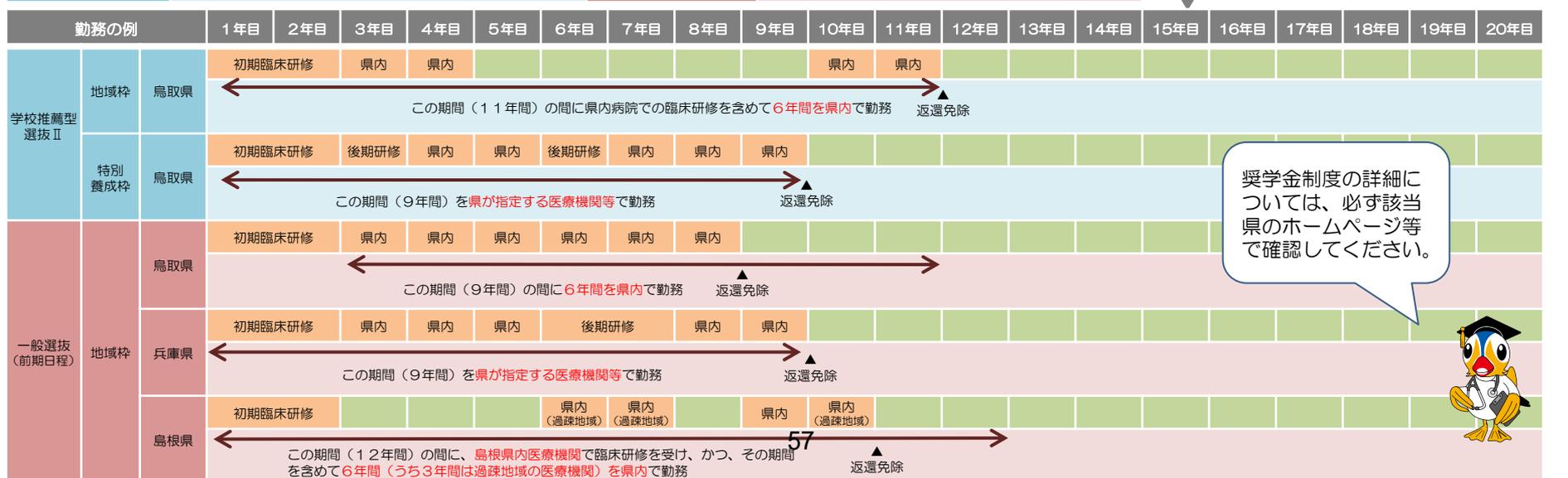
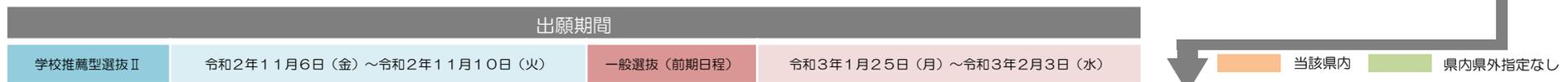
学校推薦型選抜Ⅱ

選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書、小論文及び面接の結果により総合判定します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> </tr> <tr> <th>教 科</th> <th>科 目 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 地歴・ 公民 数 理 外</td> <td> 国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">〔5教科6科目〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 地理歴史・公民で2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。(指定する科目を第1解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。)</p> <p>2. 数学を2科目受験した場合は、高得点の科目の成績を用います。 また、理科で基礎を付していない科目から2科目を選択した場合は、2科目の合計点(200点満点)を配点(100点満点)に換算したものを「理科」の成績とします。</p> <p>3. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験の 区 分</th> <th colspan="8">大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>地歴・ 公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入学共通テスト</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>700</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">900</td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 大学入学共通テストの「英語」の得点は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)をリーディング(160点満点)とリスニング(40点満点)に換算し、換算後の合計得点を「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)を200点満点に換算したものを「英語」の得点とします。</p>	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1	〔5教科6科目〕		試験の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点								合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200			700	900	個別学力検査等						100	100	200
	大学入学共通テストの利用教科・科目名																																														
	教 科	科 目 名 等																																													
	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1																																													
〔5教科6科目〕																																															
試験の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点								合計	備考																																					
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計																																							
大学入学共通テスト	200	100	100	100	200			700	900																																						
個別学力検査等						100	100	200																																							
出 願 期 間	令和3年11月5日(金)～11月9日(火)																																														
選 抜 期 日	令和3年12月4日(土)																																														
合 否 判 定 方 法	<p>「一般枠」「地域枠」の2つの区分に関わらず、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象になります。 																																														
合 格 発 表 日	令和4年2月10日(木)																																														
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県内高等学校の既卒者は「地域枠」のみ、卒業見込者については「一般枠」，「地域枠」及び「一般枠と地域枠の両方」のいずれかの区分で出願できます。 鳥取県には、地域枠推薦入学者を対象とした奨学金が設けられています。 																																														



地域医療に貢献する
意志があることが条
件です！

入試区分	地域枠の名称	県別	出願要件				奨学金貸付の条件		
			定員	卒業年次	出身地等	その他	奨学金の額	貸付期間	返還免除の条件
学校推薦型 選抜Ⅱ	地域枠	鳥取県	5人以内	①卒業見込み者 ②既卒者も出願可能 (前々年度卒業者(2浪まで))	鳥取県内高校卒業(見込)者	1高等学校あたり9人以内 (一般枠含む)	12万円/月 (年額144万円)	6年間	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②その後県内病院での臨床研修期間を含め 11年以内に知事の指定する鳥取県内医療 機関に6年間勤務
	特別養成枠	鳥取県	5人	①卒業見込み者 ②既卒者も出願可能 (前々年度卒業者(2浪まで))	鳥取県内高校卒業(見込)者または 鳥取県外高校の卒業(見込)者 であっても「鳥取県に縁のある者」 であれば出願可能	出願にあたってはあらかじめ 鳥取県に奨学金の申請を行い、 予約奨学生としての決定を受 けることが必要 応募期間：R2年9月頃 面接実施予定日： R2年10月下旬(予定)	15万円/月 (年額180万円)	6年間	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②その後9年間を鳥取県職員(医師)とし て、知事が勤務を命ずる鳥取県内医療機関 に勤務(臨床研修期間を含む)
一般選抜 (前期日程)	地域枠	鳥取県	14人	卒業年度を問わない	出身地、卒業高校の所在地は問わ ない	なし	15万円/月 (年額180万円)	6年間	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②臨床研修修了後9年以内に知事の指定す る鳥取県内医療機関に6年間勤務
		兵庫県	2人	卒業年度を問わない	出身高等学校が兵庫県内に所在す ること、又は出願時において本人 又は保護者が兵庫県内に居住して いること	志願所信書 住民票抄本 兵庫県の面接が別途あり	入学金(1年次のみ) 授業料等に相当する額	6年間	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②その後9年間を兵庫県職員(医師)とし て、知事が指定する医療機関等に勤務
		島根県	5人	卒業年度を問わない	出身地、卒業高校の所在地は問わ ない	なし	10万円/月 + 入学金相当	6年間	①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②卒業後、12年以内に、島根県内医療機 関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含 めて6年間、知事の指定する島根県内医療 機関に勤務(うち、3年間は、過疎地域の 指定医療機関に勤務)



■卒業後の勤務条件等

入試区分	地域枠の名称	県別	勤務先	勤務先の決定	診療科	身分	初期研修	後期研修
学校推薦型選抜Ⅱ	地域枠	鳥取県	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院（小児科・産科・救急科・精神科の場合は3年を、その他の診療科の場合は1年を上限とする）、救急告示病院（鳥取大学附属病院を除く）、精神科救急医療施設等	各自が選択 ◆返還免除の対象となる6年間の鳥取県内勤務先は、鳥取県がリスト形式で指定する	限定しない	各医療機関の職員	◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定	制度上は規定しない（各自が選択）
	特別養成枠	鳥取県	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院（鳥取大学附属病院、国関係機関を除くが、初期研修・後期研修の場合にあってはその限りではない）	鳥取県が決定する ◆奨学金を受給した各医師の配置は本人の希望等を踏まえて、最終的に知事が決定する	募集時には限定しない。ただし、卒業後の派遣先の診療科は、そのときの医療機関からの要望状況により限定される場合がある。なお、鳥取県内で必要とされる分野については、入学後県が情報提供を行う（内科、産科、小児科、精神科、救急など）	鳥取県職員	◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定	2年間を原則鳥取県内病院で実施 ◆研修先は鳥取県内臨床研修病院又は鳥取大学附属病院など ◆実施時期、内容については、奨学金を受給した医師の希望を踏まえてある程度柔軟に決定する（奨学生医師の意見を踏まえて、最終的に県が決定）
一般選抜（前期日程）	地域枠	鳥取県	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院、救急告示病院、精神科救急医療施設等	各自が選択 ◆返還免除の対象となる6年間の鳥取県内勤務先は、鳥取県がリスト形式で指定する	限定しない	各医療機関の職員	◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は、返還免除に係る年数として算定しない	制度上は規定しない（各自が選択）
		兵庫県	兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等	兵庫県が決定する	募集時には限定しない。兵庫県内で必要とされる分野については、入学後情報提供を行う（総合診療、内科、産科、小児科、救急科など）	兵庫県職員	◆研修先は兵庫県が決定 ◆この期間は返還免除に係る年数として算定	2年間（卒後6～7年目）を兵庫県内の公的医療機関等で実施 ◆研修先は希望を踏まえ兵庫県が決定
	島根県	島根県内の指定医療機関に勤務（3年間は過疎地域（松江市・出雲市以外）の指定医療機関に勤務）	各自が選択	限定しない	各医療機関の職員	◆島根県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定	制度上は規定しない（各自が選択） ◆後期研修を島根県内の指定医療機関で行う場合は、返還免除に係る年数として算定（ただし、診療行為を行わず専ら研修及び研究する場合を除く）	

※奨学金制度の詳細については、必ず該当県のホームページ等で確認してください。

基礎地域医療学

科目到達目標:自身の医療体験(患者・家族として)と地域医療の現場で使われる理論を結び付けながら理解する。

科目責任者(所属):谷口 晋一(地域医療学)

連絡先:学務課教務係(me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	1/5(水)	3	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	あなたはどんな医療を受けてきましたか?それを言葉にしてみよう!	紙本 美菜子	地域医療学	今までの医療や介護についての体験を言語化することができる。	患者体験の振り返り
2	1/5(水)	4	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	なぜ、「地域医療」を学ぶのか?	谷口 晋一	地域医療学	地域医療の重要性が増している背景を述べる事ができる。	地域医療学の背景
3	1/12(水)	3	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療はどんな仕組みでやっているの?～医療・保健・福祉における職種とその役割～	浜田 紀宏	地域医療学	地域医療に従事する各職種の専門性・資格を理解し、患者に対してどのような役割を果たすことができるかに関して述べる事ができる。	医師、看護職、リハビリテーション専門職、薬剤師、介護福祉士、ケアマネージャー、社会福祉士
4	1/12(水)	4	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療に関わる医師の思考に迫ってみよう!パート1～臨床推論から治療の決断まで～	今岡 慎太郎	地域医療学(非常勤講師)	医師の診断から治療までの思考の特徴を述べる事ができる。	臨床推論 治療決断
5	1/19(水)	3	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療に関わる医師の思考に迫ってみよう!パート2～患者さんのために医療を届けるために～	井上 和興(非常勤講師)	地域医療学	患者の病いの語り・ナラティブについて学習者自身の体験も踏まえて、述べる事ができる。	患者の病い ナラティブ
6	1/19(水)	4	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療のキャリアパスパート1	佐々木 紀仁(非常勤講師)/谷口晋一	地域医療学	現在実際に地域医療の現場で働いている医師のキャリアから、学習者自身が学んだことを表現することができる。	地域医療のキャリアパス
7	1/26(水)	3	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療のキャリアパスパート2	朴 大昊(非常勤講師)	地域医療学	現在実際に地域医療の現場で働いている医師のキャリアから、学習者自身が学んだことを表現することができる。	地域医療のキャリアパス
8	1/26(水)	4	112	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	「医療」と「地域医療」の同じ点、違う点を言葉にしてみよう!	李 瑛	地域医療学	このセミナーを通じて学んだこと、自分の体験を言語化することができる。	セミナーの振り返り

教育グランドデザインとの関連:1,4,5,6,7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学生授与の方針との関連:2,3,4

授業のレベル:2

評価:授業終了後のレポート100%

実務経験との関連:現役の医師が自身の医療経験を活かしながら、地域医療の現場で使われる理論等に関してオンデマンド型講義を行う。

教科書・参考書:なし

研究室配属

科目到達目標: 特定の基礎・臨床医学系教室において、1ヵ月にわたって学習・研究に従事することにより、医学を科学的基盤に立って考察できる能力を身につける。

科目責任者(所属教室): 海藤 俊行(解剖学)

連絡先: 0859-38-6438 (学部教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/29(金)	1~4	各教室	1. 学習テーマならびに方略は、各教室にて学生の希望を加味しつつ調整、決定される。 2. 時限数 4時限×19回(4週間)=76時限(10月29日~11月26日の月曜日~金曜日)	配属先教員	配属先の講座・分野・診療科	1. 医学的な問題に関心を持ち、学習テーマを見出すことができる。 2. 自主的かつ積極的に学習・調査することができる。 3. 実験の計画、準備、実施を自ら行うことができる。 4. 得られたデータを解析し、発表(プレゼンテーション、レポート作成)することができる。 5. 小グループの中で協調性を発揮し、チームの仲間と協力して問題解決ができる。	研究、実験、プレゼンテーション、レポート作成
2	11/1(月)	1~4	各教室					
3	11/2(火)	1~4	各教室					
4	11/4(木)	1~4	各教室					
5	11/5(金)	1~4	各教室					
6	11/8(月)	1~4	各教室					
7	11/9(火)	1~4	各教室					
8	11/10(水)	1~4	各教室					
9	11/11(木)	1~4	各教室					
10	11/12(金)	1~4	各教室					
11	11/15(月)	1~4	各教室					
12	11/16(火)	1~4	各教室					
13	11/17(水)	1~4	各教室					
14	11/18(木)	1~4	各教室					
15	11/19(金)	1~4	各教室					
16	11/22(月)	1~4	各教室					
17	11/24(水)	1~4	各教室					
18	11/25(木)	1~4	各教室					
19	11/26(金)	1~4	各教室					
20	未定	未定	未定					

教育ブランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1、2

授業レベル: 4

評価: 実習科目であるので、全出席を原則とする。

実習態度、プレゼンテーション、レポートなどをもとに評価する。

実務経験との関連: 研究医や臨床医がその経験を生かして、研究を指導する。

教科書: なし

総合診療-症候学-

科目到達目標: 症候学における基本的な思考方法と主要な主訴への対応を理解し、総合診療の現場における総合的な問題に模範的に取り組むことができる

科目責任者(所属): 谷口 晋一(地域医療学)

連絡先: 0859-38-6661

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/7(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	オリエンテーション	今岡 慎太郎	地域医療学	症候学が必要とされる場面を想起し、今後の学び方を説明できる	診断学総論、システム1/2思考
2	10/7(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	風邪症状を持つ患者のみかた	今岡 慎太郎	地域医療学	模範的に患者とコミュニケーションをとり、風邪様症状を聞き出せる	解剖×病態生理アプローチ、痛みのOPQRST
3	10/14(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	頭痛患者のみかた	井上 和興(非常勤講師)	地域医療学	急いで動かないといけない頭痛とそうでない頭痛を見極めながら、頭痛を持つ患者の診断の道筋を立てることができる。	Red flag sign、VINDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable)
4	10/14(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	胸痛患者のみかた	井上 和興(非常勤講師)	地域医療学	急いで動かないといけない胸痛とそうでない胸痛を見極めながら、胸痛を持つ患者の診断の道筋を立てることができる。	心原性・非心原性胸痛、INDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable)
5	10/21(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	ショック患者のみかた	及川 沙耶佳(非常勤講師)	地域医療学	“ショック”の患者に対する診察で重要な内容について理解することができる	救急におけるカルテの書き方とプレゼンテーション、ショックの定義、鑑別
6	10/21(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	意識障害患者のみかた	及川 沙耶佳(非常勤講師)	地域医療学	“意識障害”の患者に対して必要な問診・診察について理解することができる	救急におけるカルテの書き方とプレゼンテーション、意識障害の定義、鑑別
7	10/28(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	発熱患者のみかた	井上 和興(非常勤講師)	地域医療学	学習者自身の認知バイアスを振り返りながら、「発熱」している人を臨床的に診断することができる	認知バイアス、問診の仕方、感染性・非感染性発熱、VINDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable)
8	10/28(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	発熱患者のみかた	井上 和興(非常勤講師)	地域医療学		認知バイアス、問診の仕方、感染性・非感染性発熱、VINDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable)
9	12/2(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	咽頭痛患者のみかた	李 瑛	地域医療学	咽頭痛を主訴とする患者に対して適切な問診、身体所見をとり、緊急性の有無などについて判断する	killer Sore Throat
10	12/2(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	咳・痰患者のみかた	李 瑛	地域医療学	咳・痰などの主訴で来た患者の、風邪以外の鑑別を上げ、必要な問診・身体診察・検査を説明できる	感度、特異度、ベイズの定理、グラム染色、呼吸音
11	12/9(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	腹痛患者のみかた	李 瑛	地域医療学	腹痛の鑑別をあげ、必要な問診や検査所見を説明することができる	体性痛、内臓痛、放散痛、カルテの書き方
12	12/9(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	嘔気・嘔吐患者のみかた	李 瑛	地域医療学	嘔気・嘔吐を病態的に理解する	Reg flag sign、カルテの書き方
13	12/16(木)	3	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	腹痛のある女性患者のみかた	紙本 美菜子	地域医療学	“腹痛”を訴える女性患者に対して必要な問診を行い、とるべき身体所見を把握している	女性診察の特徴、カルテの書き方(現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、身体所見、システムレビュー)
14	12/16(木)	4	431	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	腹痛のある小児患者のみかた	紙本 美菜子	地域医療学	“腹痛”を訴える小児患者に対して必要な問診を行い、とるべき身体所見を把握している	小児診察の特徴、カルテの書き方(現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、身体所見、システムレビュー)

地域医療体験

科目の目的: 学習者自身の解釈(当たり前)を認識しながら、地域医療現場を観察することで、学習者自身を相対化する。

科目到達目標: 地域医療現場に参加し、参与観察を行い、フィールドノーツ・電子ポートフォリオに記述することができる。

科目責任者(所属教室): 谷口 晋一(地域医療教育支援室)

連絡先: 学務課教務係(me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/7(水)	1-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療体験に関するワークショップ	地域医療学講座教員	地域医療学	地域医療現場で「解釈することを一旦棚に上げて、観察することの意味を考える。	地域医療、参与観察、医療人類学
2	4/14(水)	1-2	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療体験に関するワークショップ	地域医療学講座教員	地域医療学	地域医療現場で「解釈することを一旦棚に上げて、観察することの意味を考える。	地域医療、参与観察、医療人類学
3	4/14(水)	3-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域医療体験のオリエンテーション	地域医療学講座教員	地域医療学	地域医療体験全体について注意事項や交通手段について説明する。	公共交通機関、電子ポートフォリオ
4	4/21(水)	1-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。地域医療現場を参与観察する。	地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所
5	4/28(水)	1-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。地域医療現場を参与観察する。	地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所
6	5/12(水)	1-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。地域医療現場を参与観察する。	地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所
7	5/19(水)	1-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。地域医療現場を参与観察する。	地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所
8	5/26(水)	1-4	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	成果に関するワークショップと総括	地域医療学講座教員	地域医療学	地域医療体験実習を振り返る。	グループワーク、プレゼンテーション

教育グランドデザインとの関連: 1、3、4、5、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業レベル: 3

評価: 各施設職員による評価、電子ポートフォリオに対する形成的評価、最終日のワークショップを加味して総合的に判断する。

実務経験との関連: 医師やメディカルスタッフは地域医療現場に医学生の参加を促す。また医学生の振り返りを支援する。

電子ポートフォリオ: 各医療機関で観察し、フィールドノーツに観察した内容を記述します。そのフィールドノーツに記載した観察内容・その解釈を、電子ポートフォリオに記述します。入力期限は同じ週の金曜日で、教員が次週の火曜日までにフィードバックします。

実習の振り返り会: 本実習に対する医学生、参加医療機関からの評価を行うため、6月もしくは7月に県西部・県東部で実習先の医療スタッフのみなさんを交えて、意見交換会を行います(内容・日時・場所などは調整次第お伝えします)。実習中に参加者を募ります。各班から1名は必ず参加をお願いします。

その他: 実習する医療機関、交通手段等の詳細は追ってお伝えします。オリエンテーションや実習前後のワークショップはオンデマンド型授業・リアルタイム型授業などオンライン型とミックスして実施する予定です。適宜ご連絡します。医療機関の実習受け入れの状況によって、学内実習も組み合わせで行います。内容はオリエンテーション時にお伝えします。

参考書: 佐藤 郁哉著: フィールドワークの技法—問いを育てる、仮説をきたえる - 新曜社 2002

臨床地域医療学

科目到達目標：地域医療およびプライマリ・ケアに必要な家庭医療・地域包括ケアの考え方を理解し説明できる。以下の事項に関して理解し、概説できる：地域医療、家庭医療、プライマリ・ケア、在宅医療、高齢者医療など。

科目責任者(所属教室)：谷口 晋一(地域医療学)

連絡先：0859-38-6438(学部教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/10(木)	1	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	プライマリ・ケアと地域医療	谷口 晋一	地域医療学	オリエンテーション、地域医療を構成する要素・構造・考え方について概説できる。	地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア
2	6/10(木)	2	122	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	分野間連携と介護保険制度	浜田 紀宏	地域医療学	患者を多方面で支えている職種を知る。患者を支える制度の中で介護保険の概要と主治医意見書の作成法を学ぶ。	介護保険制度、主治医意見書、チーム医療
3	6/17(木)	1	122	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	プライマリ・ケアと家庭医療	松下 明	奈義ファミリークリニック(非常勤講師)	家庭医療学の基礎と実践に関して理解する。	地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア
4	6/17(木)	2	122	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	地域社会の高齢化に対応できる医療システムの構築	秋下 雅弘	東京大学加齢医学(非常勤講師)	高齢者医療の特徴を理解し、医療システムとして展開する方策を考える。	高齢者医療、老年症候群、フレイル、ポリファーマシー
5	6/24(木)	1	122	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	プライマリ・ケアと家庭医療/複雑性への対処	紙本美菜子/井上和興	地域医療学/大山診療所所長(非常勤講師)	家庭医・総合診療医が実践する患者ケア・在宅ケア・家族志向性アプローチ・複雑な症例への対処について概説できる	地域医療、家庭医療学、家族志向性、プライマリケア、複雑性への対処
6	6/24(木)	2	122	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	家庭医・総合診療医による地域志向性アプローチ	孫 大輔	(非常勤講師)	家庭医・総合診療医が実践する地域志向性アプローチについて概説できる	地域志向性アプローチ、地域包括ケア、在宅ケア、地域診断、社会的処方
7	7/1(木)	1	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	保健行政と地域医療	片岡 大輔	島根県健康福祉部健康推進課 課長(非常勤講師)	離島で住民を支えるために医師として何が必要かを考える。	保健医療行政、公衆衛生
8	7/1(木)	2	122	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	プライマリ・ケアと地域医療	谷口 晋一	地域医療学	地域医療における家庭医・総合診療医の役割を理解する。地域医療を構成する要素・構造・考え方について概説できる。	地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア

教育ブランドデザインとの関連： 1, 3, 4, 5, 6, 7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連： 1, 2, 3, 4

授業レベル： 3

実務経験との関連： 現役の医師、看護師などが当該領域の基本的知識、実践方法に関して講義する。

<オンデマンド学習に変更した理由> 再びコロナ感染症が再流行する可能性があり、講師が感染流行地から移動することで生じるリスクが除外できないため。

<講義ビデオ公開順と公開日の遅れに関して> 講義ビデオの公開はその都度MANABAから受講者の連絡先に通知する。

講義ビデオ完成順に公開するため、公開順が順不同となることがある。また、シラバス上の講義日より公開が若干遅れる場合がある。

評価： 毎回のビデオ講義を聴講したのち、MANABAにて公開する指定シートにレポートを記入する。複製不可。指定日の期限までにかかわらず入力を終了すること。

・定期試験： 実施しない。評価は各講義の課題レポートでおこなう。

第202100127950号
令和3年8月23日

厚生労働省医政局長 様

鳥取県福祉保健部長
(公 印 省 略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和3年8月16日付け3文科高第501号、医政発0816第9号に基づき、下記のとおり、令和4年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

18名

- ・鳥取大学医学部における地域枠：17名
- ・岡山大学医学部における地域枠：1名

(担当)

医療政策課医療人材確保室 福田

電話番号：0857-26-7195

ファクシミリ：0857-21-3048



(公 印 省 略)
医 第 1 7 8 7 号
令 和 3 年 8 月 19 日

厚生労働省医政局長 様

兵庫県知事 齋藤 元彦

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和3年8月16日付け3文科高第501号、医政発0816第9号に基づき、下記のとおり、令和4年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等を含めた本県の保健医療計画に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

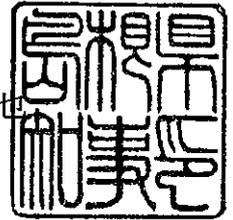
- 16名
- ・兵庫医科大学医学部における地域枠：2名
 - ・神戸大学医学部における地域枠：10名
 - ・岡山大学医学部における地域枠：2名
 - ・鳥取大学医学部における地域枠：2名

担当：健康福祉部健康局医務課医療人材確保班 花光
電話番号：078-341-7711（内線3230）

医 第 7 3 3 号
令和 3 年 8 月 1 8 日

厚生労働省医政局長 様

島根県知事 丸山 達也



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 3 年 8 月 16 日付け 3 文科高第 501 号、医政発 0816 第 9 号に基づき、下記のとおり、令和 4 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域卒入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

1 増員数

17 名

- ・島根大学医学部における地域卒：12 名
- ・鳥取大学医学部における地域卒：5 名

担当：島根県健康福祉部医療政策課
医師確保対策室
主任 山根卓也
電話番号：0852-22-5251